

北の輝く女性応援会議ワーキングチームアンケート 結果

■広報に係る連携について

1 ホームページ（以下「HP」）に関する連携について

設問① 貴団体等にHPはありますか？

ある	14	ない	3	未回答	2
----	----	----	---	-----	---

設問② 貴団体等のHPには、貴団体が「北の輝く女性応援会議」構成団体である旨の情報がありますか？

ある	5	ない	12	未回答	2
----	---	----	----	-----	---

設問③ 貴団体等のHPには、女性活躍推進に資する内容の情報がありますか？

ある	9	ない	7	未回答	3
----	---	----	---	-----	---

設問④ 貴団体等のHPと北海道の女性活躍応援ポータルサイト「北の女性★元気・活躍・応援サイト」とのその相互リンクは可能ですか？

可能	11	不可	6	未回答	2
----	----	----	---	-----	---

2 ソーシャルネットワークサービス（以下「SNS」）を利用した広報について

設問① 貴団体等で活用しているSNSはありますか？

ある	5	ない	12	未回答	2
----	---	----	----	-----	---

設問② 設問①で「ある」と回答した団体にお聞きします。活用されているSNSを教えてください。

5団体等すべてフェイスブックと回答

設問③ 北海道の女性活躍情報交流フェイスブックグループ「HIROBA（ひろば）」（以下「ひろば」）をご存じですか？

加入済み	3	知っているが未加入	8	知らない	6	未回答	2
------	---	-----------	---	------	---	-----	---

設問④ 設問③で「知っているが加入していない」「知らない」と回答した団体にお聞きします。加入するにはどのような条件が必要ですか？該当するものを選んでください。

すぐにでも始められるので条件はない	1
団体等でSNSの使用が認められていない	5
操作マニュアルの配付があれば検討できる	2
道の担当者が直接設定などに来てほしい	0
その他	6

設問⑤ フェイスブック以外で、女性活躍の気運醸成に有効と思われるSNSはありますか？

インスタグラム	1	ツイッター	5	LINE	1
---------	---	-------	---	------	---

設問⑥ 有効と思われるSNSがある場合は、有効と感じる理由又は活用のイメージを教えてください。

- ・情報の拡散力が高い。サイトの更新情報などを投稿（ツイッター）
- ・写真がメインのため、女性の感性やビジネスとつながりやすい。Facebook とつながっているので実名管理もできる。（インスタグラム）
- ・利用者が多く、リツイートやツイートが他の媒体(TV やラジオなど)に取り上げられる場合があり、より多くの不特定多数に情報発信が可能となるため（ツイッター）

■北の輝く女性応援会議及び道の女性活躍の取組について

1 平成26年より実施してきた北の輝く女性応援会議及び道の取組に係る評価について

設問① 下記【北の輝く女性応援会議及び北海道の主な取組】より、評価できると思う取組を選んで番号を記入してください（3つ以内）

・女性の元気応援メッセージ	2
・女性の活躍応援自主宣言	2
・トップリレー応援メッセージ	5
・女性活躍に関する北の輝く女性応援会議後援名義の使用	1
・ポータルサイト北の女性★元気・活躍・応援サイト	6
・ロールモデル集「北の★女性からのメッセージ」	5
・北海道女性の活躍支援センター	1
・未来を創る女性懇話会	2

設問② 評価できるとした理由を教えてください。（主な意見）

- ・ロールモデル集は、圧倒的にロールモデルが少ない女性の参考になる。
- ・ポータルサイトは、女性に関わる情報がわかりやすく集約されている。
- ・トップリレーメッセージは、女性にとっても大きな力となるように感じる。
- ・自主宣言は、多数の企業が参加しておりインパクトがある、今後も企業数の増加を期待したい。

設問③ 下記【北の輝く女性応援会議及び北海道の主な取組】より、評価できないと思う取組を選んで番号を記入してください（3つ以内）

・女性の活躍応援自主宣言	1
・女性活躍に関する北の輝く女性応援会議後援名義の使用	1
・ポータルサイト北の女性★元気・活躍・応援サイト	1

設問④ 評価できないとした理由を教えてください（主な意見）

- ・自主宣言は、企業への認知度が低い。
- ・ポータルサイト、まだ周知不足と感じる。
- ・応援会議後援名義は管理が大変そうで、やめてもあまり変わらないのでは。

2 平成30年度に向け、北の輝く女性応援会議として取り組む事業について、事業のアイデア等について自由に記載願います。（主な意見）

- ・各取組はそれぞれ女性の活躍推進に向けた意識醸成には一定の貢献があったと考えます。ただ、各方面で取組が進んでおり意識醸成事業に注力していく段階は終え、「男女平等参画 審議会」マターへ事業集約するのが望ましいと考えます。
- ・メッセージを発信し続けることが大事。構成員や道の取組の横連携が図れる事業。それぞれが良い取組を行っていても、相乗効果が出ていないのではないか。外部発信として北海道から、全国や海外にも発信を。
- ・まだ認知度が低く、せっかくすばらしい取組なのにもったいないと思います。新しい取組も良いですが、現在の取組を周知していくことも大事だと思います。

